

銃による暴力禁止命令



銃による暴力に立ち向かおう

差し迫った危険にさらされている場合は、911に電話してください。

2020年、カリフォルニア州における銃による死亡者の半数は殺人によるものでした。ほぼ半数は自殺によるものでした。こうした事態を防ぐため、カリフォルニア州には9つの保護命令があり、銃による暴力を阻止するための行動を起こし、危機に瀕している人々が支援を受けられる機会を与えています。

GVRO 概要

GVRO が必要な状況

銃で誰かが危険な目に遭う可能性がある場合

申請できる人

- 警察官
- 近親者
- 夫、妻、パートナー、またはルームメイト
- 上司または同僚
- 学校の教師

命令期間

21日間、1～5年延長可能



それは何ですか？

GVRO はカリフォルニア州の保護命令です。自分自身や他人を傷つける可能性のある人物がいる場合に、その家族、教師、警察が、裁判官に助けを求めることができます。裁判官が認めた場合、全員の安全を守るため、その人物の銃は短期間没収されます。

保護対象

GVRO は、誰もが安全に暮らせるのに役立ちます。自分自身や他人を傷つける可能性がある場合、一旦立ち止まって助けを求める時間を与えてくれます。また、自殺を防ぐのにも役立ちます。



どのように役立つか

GVRO は、一時的に銃を没収し、その人が立ち止まって助けを求めることができるようにします。命令が解除されるまで、銃、弾丸、弾倉の所持や購入は禁止されます。

4X

拳銃を所持している人は、所持していない人に比べて自殺する可能性がほぼ2倍高くなります。

保護命令と銃による暴力の危険性を軽減する方法について詳しくは、こちらをスキャンしてください。

ReducetheRisk.ca.gov

